

学校訪問シリーズ 13

津久見市立保戸島小中学校から学ぶ

学校の教育目標「接続可能な『未来の創造』に向け、ふるさとを愛し、自ら学ぶ意欲を持ち、心身ともにたくましい「ほとじまっ子」の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「基礎・基本の学力、思いやりと表現力（コミュニケーション能力）、協働して高め合う力（自尊感情）」としながら、3人の子ども達の個性を伸ばす取り組みを行っています。



学校経営から学ぶ

本校は、子ども達が「保戸島小中学校で学んで良かった」と、思えるように、日々の授業等においては、子ども達が考える場、予想をする場、表現する場を多く保障することで、それぞれの子どもの良さや成長を発見し、さらに伸ばす指導を行っています。また、教職員も「これまでやってきたことやチャレンジしたいことを、ここ保戸島で実践しよう」と考え、職員の特技や良さを活かした活動を行っています。特に、「清川教育キャンプ」の組織的な取り組みは素晴らしいと思いました。

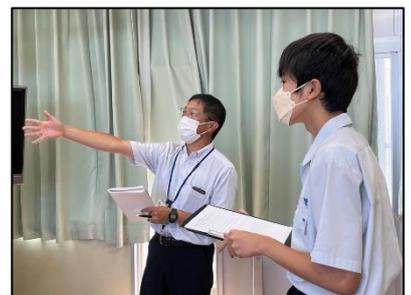
今後とも、教科等横断的な視点でカリキュラムを編成したり、総合的な授業を企画することで、子どもも教職員も共に学び、高め合う実践を期待します。



NO.152 2022年9月 津久見市立保戸島小中学校

表現力

聴く人のことを考えながら、最後まではっきりした声で伝えました。



NO.150 2022年9月 津久見市立保戸島小中学校

質問力

「もっと知りたい。詳しく教えて!」相手の思いを引き出す質問。そして、共感的に聴く態度。

授業から学ぶ

教育事務所訪問を、子ども達の学びの場としていることが素晴らしく、私達も嬉しく思いました。中学2年総合では、単元全体の課題が生徒にとって必然性のあるものなので、私達の発言をメモしながら短時間で整理し、今後の計画を立てていました。読み手を意識した「保戸島新聞」を作成する、彼の高い企画力、計画力、表現力を感じました。

小学校総合では、本時のめあてが明確なので、2人とも個々の目標を意識した発表やふりかえりができていました。プレゼン作成が3回目ということもあり、子ども自身も成長を感じた事でしょう。

今後も、子どもの可能性を信じ、繰り返し行うような単元計画をつくり、ほめて、認めて、任せるような実践を期待します。



NO.151 2022年9月 津久見市立保戸島小中学校

計画力

いつまでに、何を、どのようにするか具体的に考える。そして、常に目的からずれていないか確認し、修正をする。



NO.153 2022年9月 津久見市立保戸島小中学校

思いやり

ゆっくり話すことで想像させたり、クイズを入れて考えさせたり、聴く人が楽しめる説明ができました。